

都市問題等調査特別委員会

委員会資料

2022 年度（2023 年 3 月期）第 2 四半期決算説明会資料

（福岡国際空港株式会社）

令和 5 年 1 月 1 6 日

福 岡 市

港 湾 空 港 局

**2022年度（2023年3月期）
第2四半期決算説明会
(2022年4月1日～2022年9月30日)**



2022年11月2日

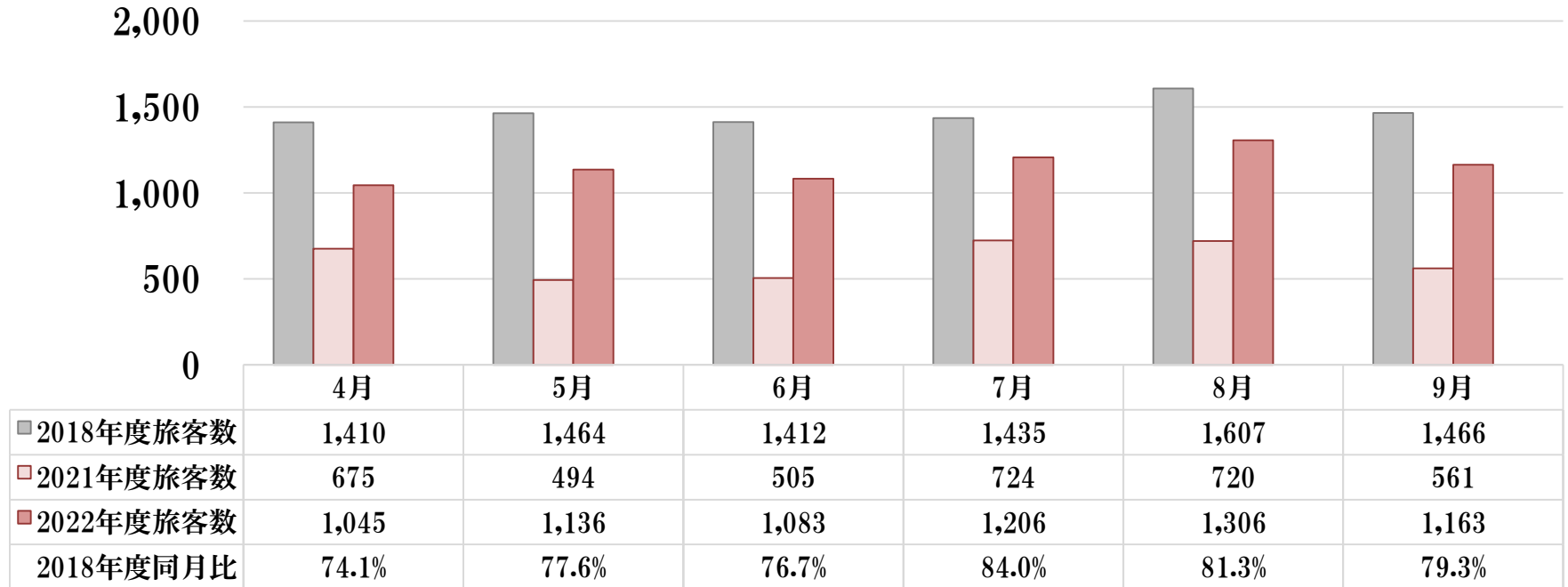
1. 旅客数・貨物取扱量および便数	P 1~7
2. 第2四半期決算	P 8~9
3. 需要喚起に向けた取組み	P 10
4. 福岡空港のファンづくりに向けた取組み	P 11~12
5. 感染拡大防止に向けた取組み	P 13
6. 多くのお客さまをお迎えできる施設等の整備	P 14~16
7. 新規就航および運航再開状況	P 17~18
8. 国際線旅客の回復に合わせた環境整備	P 19
9. 継続的で着実な安全推進への取組み	P 20

1. 旅客数・貨物取扱量および便数

■旅客数（国内線）

2022年度4～9月旅客数は、6,939千人（2018年度比78.9%）

国内線-月別旅客数の推移（2022年度vs2018年度：千人）



■ 2018年度旅客数 □ 2021年度旅客数 ■ 2022年度旅客数
(千人)

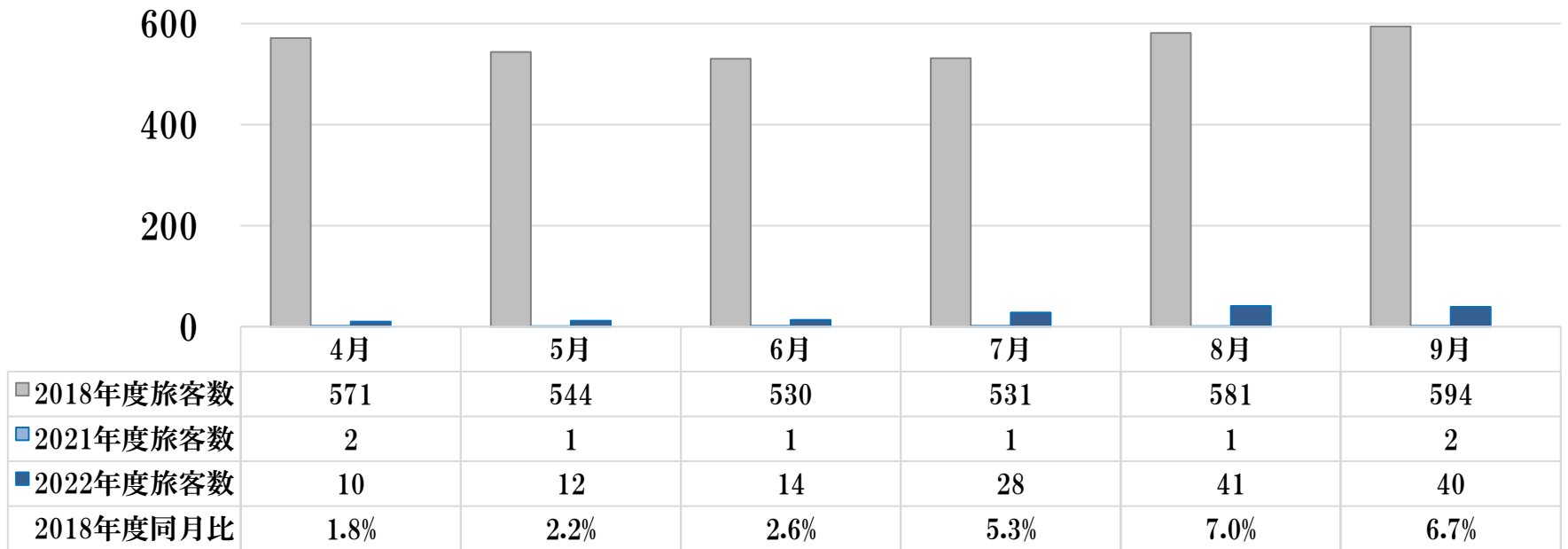
	2022年度 4～9月	2018年度 4～9月
国内	6,939	8,794

➡ (対2018年度)
▲1,855(千人)/▲21.1%

■旅客数（国際線）

2022年度4～9月旅客数は、144千人（2018年度比4.3%）

国際線-月別旅客数の推移（2022年度vs2018年度：千人）



■ 2018年度旅客数 ■ 2021年度旅客数 ■ 2022年度旅客数
(千人)

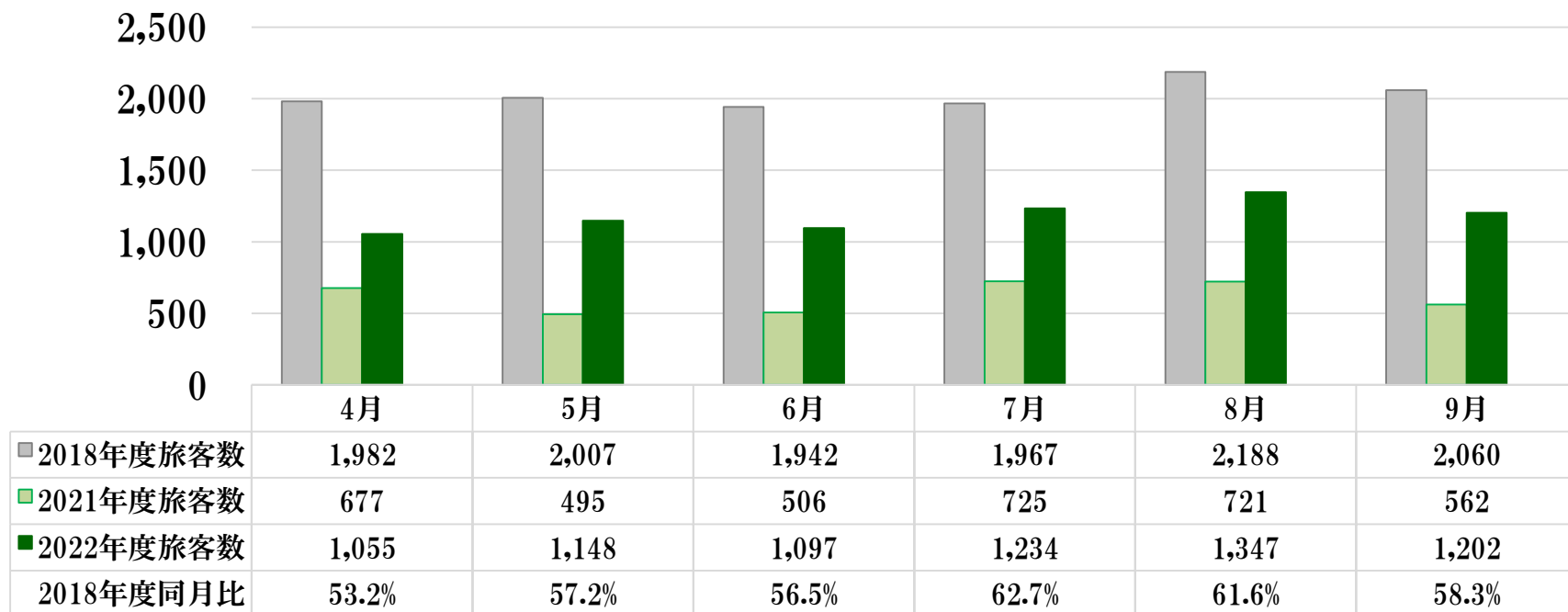
	2022年度 4～9月	2018年度 4～9月
国際	144	3,353

➡ (対2018年度)
▲3,209(千人)/▲95.7%

■ 旅客数（国内線+国際線合計）

2022年度4～9月旅客数は、7,083千人（2018年度比58.3%）

国内線・国際線 合計-月別旅客数推移（2022年度vs2018年度：千人）



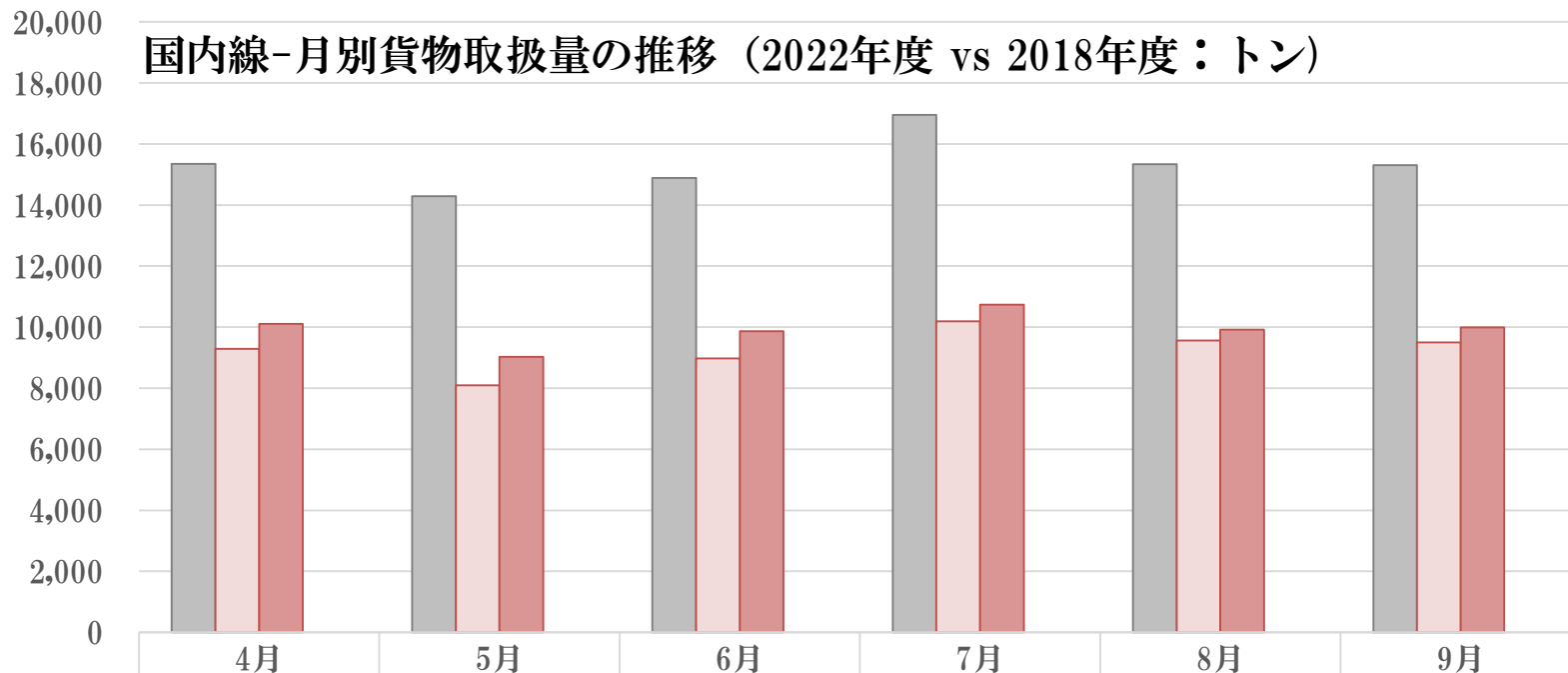
■ 2018年度旅客数
 ■ 2021年度旅客数
 ■ 2022年度旅客数
 (千人)

	2022年度 4～9月	2018年度 4～9月
合計	7,083	12,146

➡ (対2018年度)
▲5,063(千人)/▲41.7%

■ 貨物取扱量（国内線）

2022年度4～9月貨物取扱量は、59,650トン（2018年度比64.7%）



■ 2018年度貨物取扱量	15,348	14,294	14,889	16,951	15,341	15,304
□ 2021年度貨物取扱量	9,292	8,096	8,979	10,194	9,563	9,504
■ 2022年度貨物取扱量	10,109	9,032	9,867	10,737	9,919	9,987
2018年度同月比	65.9%	63.2%	66.3%	63.3%	64.7%	65.3%

（トン）

	2022年度 4～9月	2018年度 4～9月
国内	59,650	92,127

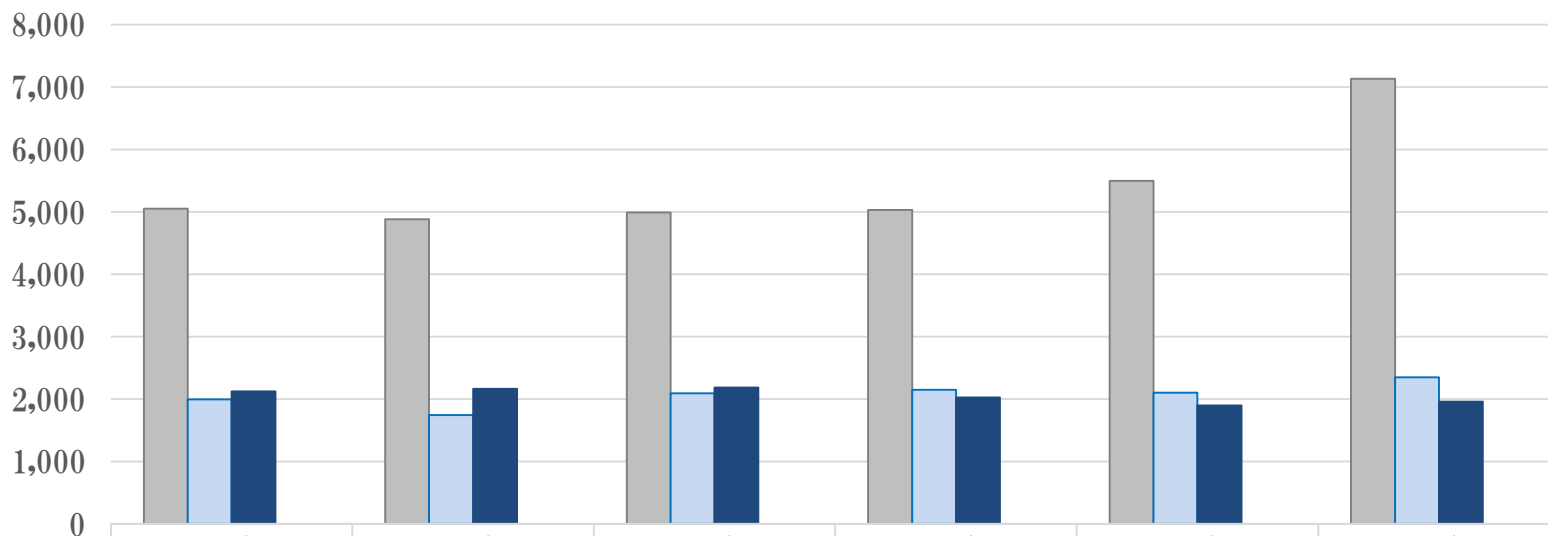


（対2018年度）
▲32,477(トン)/▲35.3%

■ 貨物取扱量（国際線）

2022年度4～9月貨物取扱量は、12,360トン（2018年度比37.9%）

国際線-月別貨物取扱量の推移（2022年度 vs 2018年度：トン）



■ 2018年度貨物取扱量	5,052	4,882	4,992	5,030	5,496	7,136
□ 2021年度貨物取扱量	1,995	1,744	2,096	2,152	2,106	2,353
■ 2022年度貨物取扱量	2,127	2,165	2,185	2,027	1,898	1,958
2018年度同月比	42.1%	44.3%	43.8%	40.3%	34.5%	27.4%

(トン)

	2022年度 4～9月	2018年度 4～9月
国際	12,360	32,588

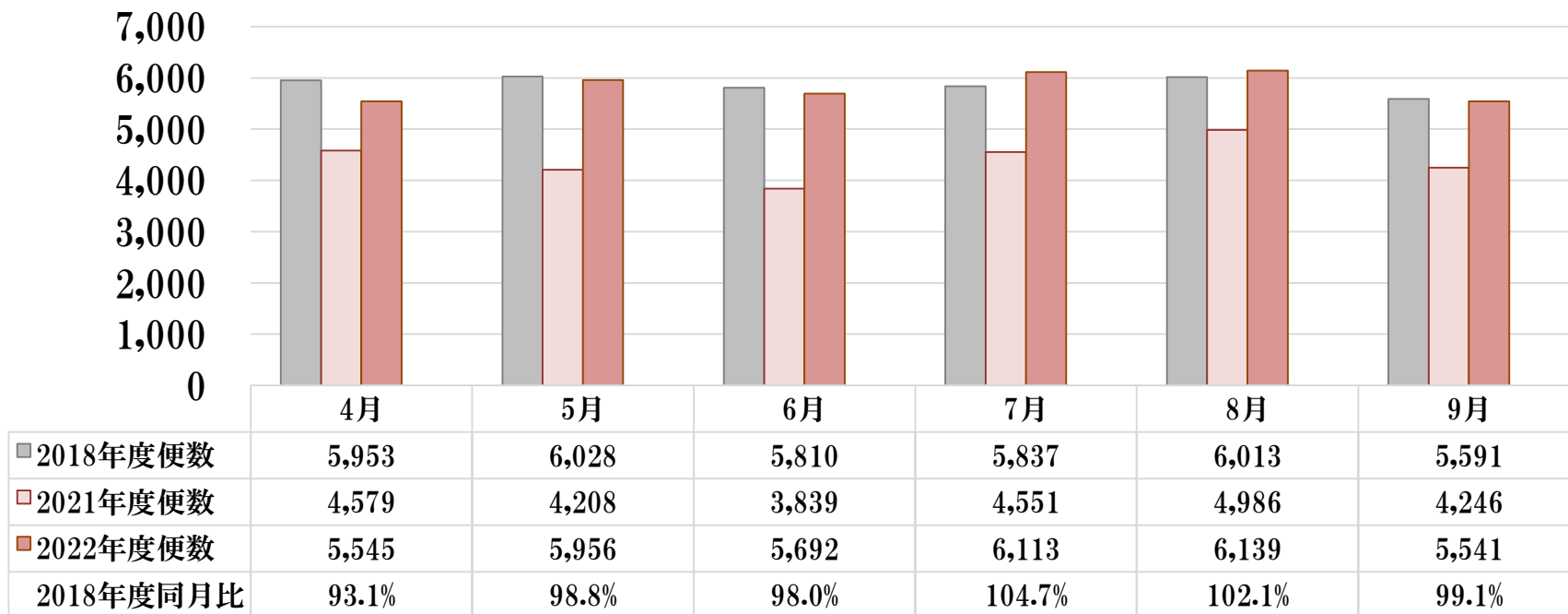


(対2018年度)
▲20,228(トン)/▲62.1%

■ 便数（国内線）

2022年度4～9月便数は、34,983便（2018年度比99.3%）

国内線-月別便数推移（2022年度vs2018年度：便数=着陸回数）



■ 2018年度便数 □ 2021年度便数 ■ 2022年度便数
(便)

	2022年度 4～9月	2018年度 4～9月
合計	34,983	35,232

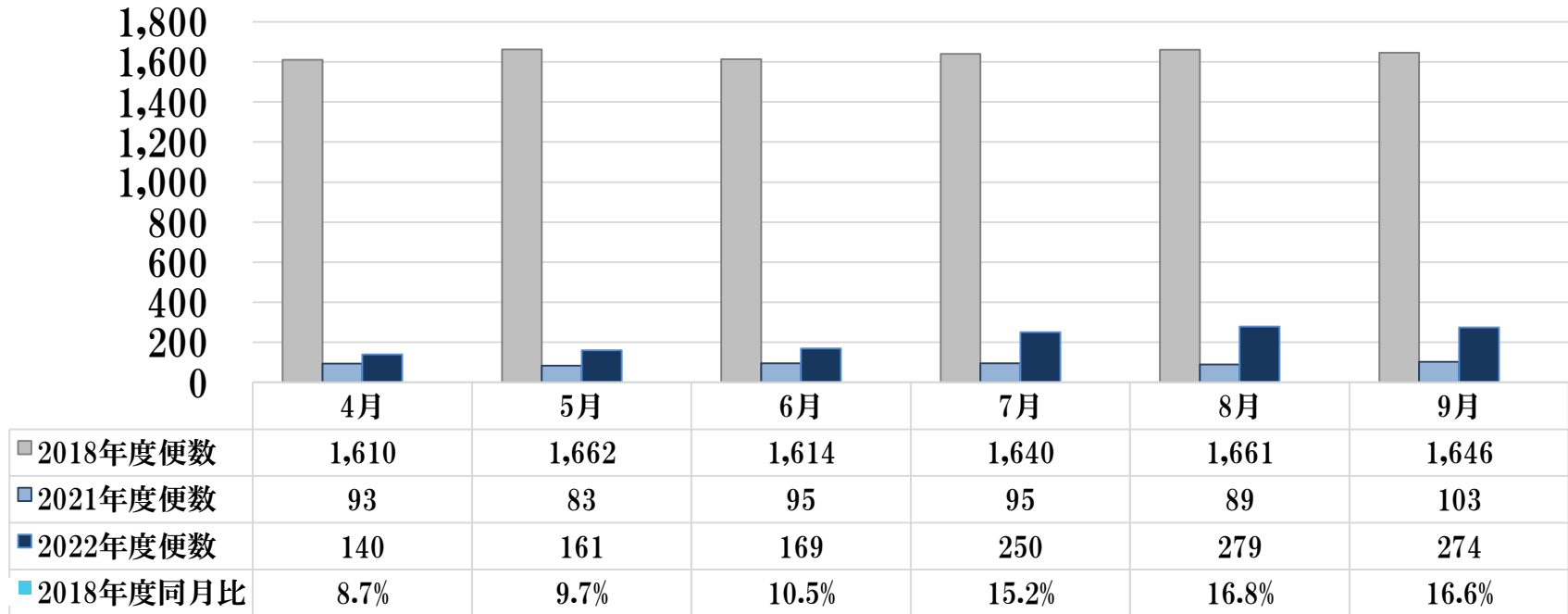


(対2018年度)
▲249/▲0.7%

■ 便数（国際線）


2022年度4～9月便数は、1,273便（2018年度比12.9%）

国際線-月別便数推移（2022年度vs2018年度：便数=着陸回数）



■ 2018年度便数
 ■ 2021年度便数
 ■ 2022年度便数
 (便)

	2022年度 4～9月	2018年度 4～9月
合計	1,273	9,833


 (対2018年度)
 ▲8,560/▲87.1%

2. 第2四半期決算

■ 損益計算書

(単位：億円)

区分	2022上期	主な内容
営業収益	115	空港運営事業収入 38、不動産収入 55、 その他 21
営業利益	△27	売上原価 10、 販売費および一般管理費132(うち運営権対価に係 る費用 53)
経常利益	△62	営業外費用：支払利息 35(うち運営権対価に係る 費用 29)
四半期純利益	△61	

[前年度比較]

(単位：億円)

区分	2022上期	2021上期	増減	比率%	備考
営業収益	115	79	35	145.1	空港運営事業収入 +12、不動産収入 +12、 その他 +11
営業利益	△27	△57	29	--	売上原価 +6、 販売費および一般管理費△0
経常利益	△62	△92	29	--	
四半期純利益	△61	△91	30	--	

■貸借対照表

(単位：億円)

区分	2022年9月	主要内容
資産合計	4,229	公共施設等運営権 2,987 有形固定資産 681 現金および預金 510
負債合計	4,473	公共施設等運営権に係る負債 3,621 借入金 732
純資産合計	△243	資本金 178 資本剰余金 178 利益剰余金 △589

〔前年度比較〕

(単位：億円)

区分	2022年9月	2022年3月	増減	備考
資産合計	4,229	4,257	△27	公共施設等運営権△53、 現金および預金+37、有形固定資産△17
負債合計	4,473	4,454	+19	公共施設等運営権に係る負債 +29
純資産合計	△243	△197	△46	利益剰余金△61

3. 需要喚起に向けた取組み

九州とベトナムにおける観光およびビジネス需要を活性化すべく、ベトナム空港公社（ACV）との姉妹空港協定を締結した。また、ビジネス旅客向けには国際線就航航空会社と海外出張が多い会社との法人懇談会を実施した。

ベトナム空港公社との姉妹空港協定締結



■実施日 2022年4月13日

■内容

FIACとして初めてとなる姉妹空港協定締結。福岡とベトナム間の旅客定期便の再開を加速させると共に、ACVが運営するベトナム国内のより多くの空港と福岡空港間の新たな直行便実現に向けて協力していく。

海外ビジネス渡航法人懇談会



■実施日 2022年8月26日

■内容

各航空会社が持つ情報（サービスや経由便等含めた最近の動向）の説明や個別面談、またラウンジ等空港施設見学を実施。

その他、継続して中学・高校職員や旅行会社向け海外修学旅行、中国旅行会社向け観光情報等各種Webセミナーを実施。

4. 福岡空港のファンづくりに向けた取組み

福岡空港では、多人数が集まるイベントに関する制限緩和を踏まえ、空港内でイベントが実施された。当社としても主催者に全面協力し、航空機をご利用にならない多くのお客さまに空港に足を運んでいただき、福岡空港のファンづくりの一助とすることができた。

空フェス2022 in 福岡空港



■実施日 2022年9月10日～11日

■内容

九州旅行博覧会実行委員会と共催で、航空会社や海外政府観光局等のPRブース、ステージイベントを行った。
入場者数は2日間で約10,000人と、大いに賑わった。

福岡空港ランウェイウォーク2022



■実施日 2022年7月30日

■内容

福岡空港利用者利便向上協議会（事務局：大阪航空局福岡空港事務所）主催で3年ぶりに実施。参加者は、応募多数の中から抽選で選ばれた40名で、空港関係者でも通常は立ち入ることができない滑走路を歩くイベントを楽しんだ。

福岡の代表的な祭りである「博多どんたく」「博多祇園山笠」が、3年ぶりに全ての内容にて開催されたことから、地域と一体になって盛り上げるため、福岡空港でPR展示を行った。また、小学生を対象とした「児童画コンクール」も3年ぶりに実施し、福岡県在住の子供たちを中心に多数の応募があった。

博多どんたく



■実施日 2022年4月15日～5月9日

■内容

博多どんたくの写真やグッズ展示による祭りの紹介、巨大にわか面のフォトスポット設置、Twitter写真投稿キャンペーン

博多祇園山笠



■実施日 2022年6月28日～7月15日

■内容

博多祇園山笠の紹介（歴史、スケジュール等）、山笠の映像放映、手拭い展示、台上がり風フォトスポット、Twitter写真投稿キャンペーン

その他、川柳コンテストも実施。



(児童画コンクール2022グランプリ作品)

5. 感染拡大防止に向けた取り組み

現在、コロナの感染拡大は落ち着きを見せているものの、福岡空港では、感染拡大防止に向けた取り組みを引き続き行い、お客さまに安心して空港をご利用いただける環境づくりに努めている。

COVID-19 AIRPORT SAFETY RATING

5スター獲得



■実施日 2022年8月26日

■内容

SKYTRAX社が実施する感染症対策に関する監査において、世界最高水準の5スターを獲得。羽田空港に次いで国内で2番目。空港内施設の衛生面やソーシャルディスタンスの確保、館内空調や清掃の基準等の項目で評価。

その他、お客さまが触れることが多い館内のテーブルやエレベーターボタンや手すり等をFIAC従業員にて消毒作業を継続して行っている。

アバター式リモート案内



■実施日 2022年8月17日

■内容

お客さまから離れた場所にいるスタッフが、案内所に来られた方に対してディスプレイ上のアバターを通じて「リモート対話」によるご案内を行う。これまでと同様のサービスレベルのご案内を非接触・非対面で行うことが可能。（於：国内線1階案内所/北）

6. 多くのお客さまをお迎えできる施設等の整備

【国際線ターミナルビル等増改築工事】

国が実施する滑走路増設に合わせ、国際線地区で年間旅客数1,600万人をお迎えできる環境整備に向けて、2022年5月20日に国際線ターミナルビル等増改築工事の起工式を行い、着工した。現在、ターミナル内外で工事を継続中である。

また、立体駐車場は2023年1月末の竣工に向け、順調に工事を進めている。



北側部分の様子（9/28時点）



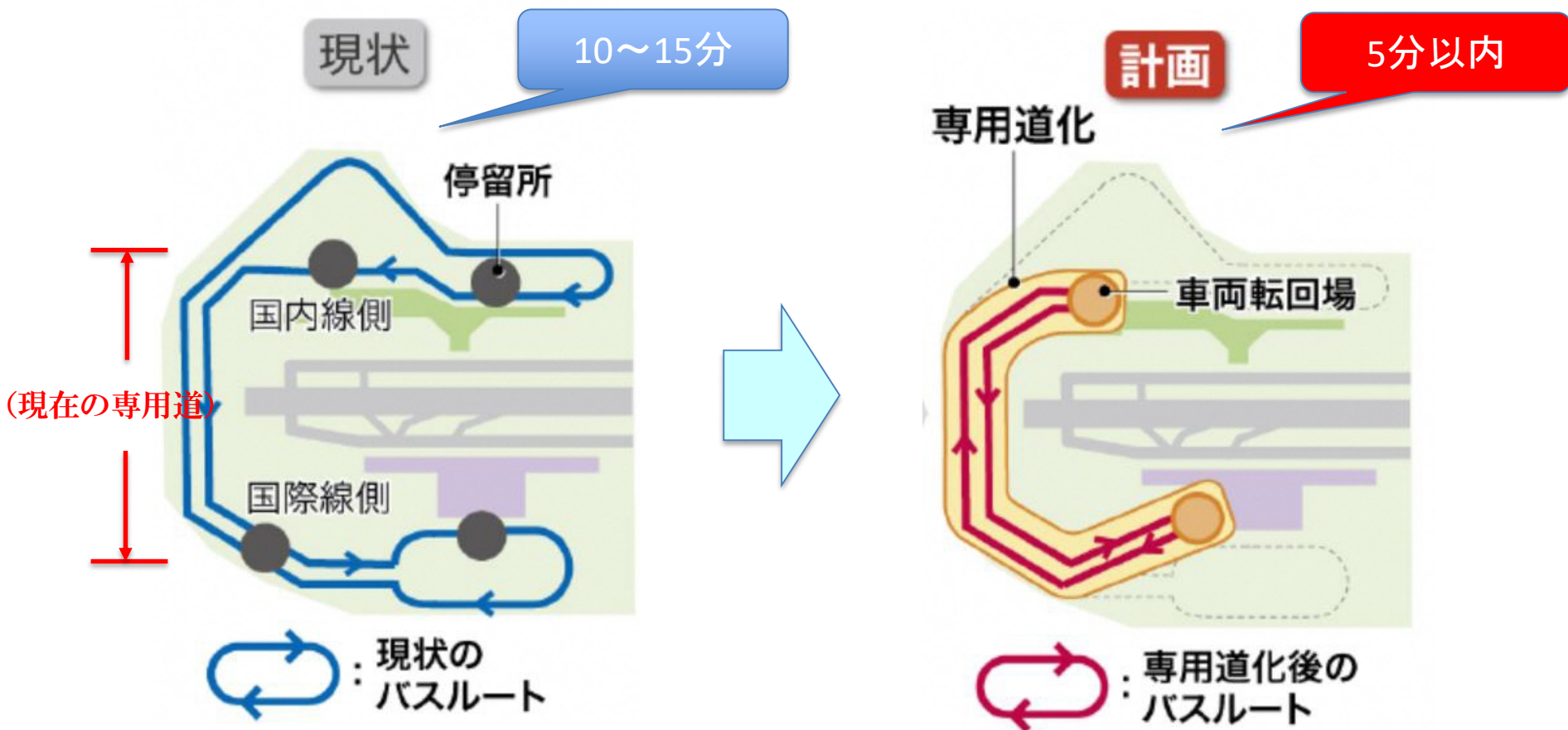
2階一般ロビーの様子（9/28時点）



立体駐車場の様子（9/30時点）

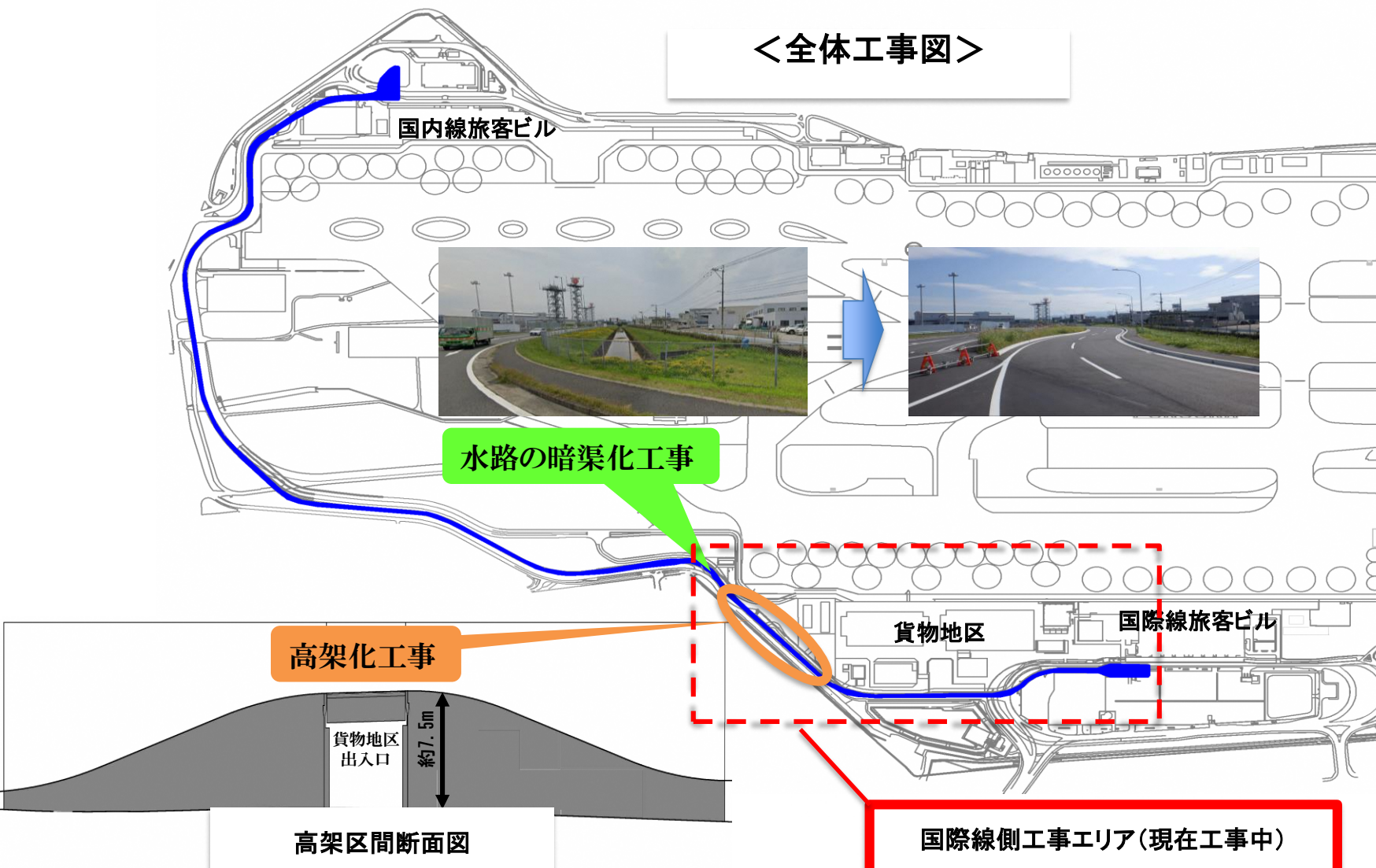
【内際連絡バス専用道】

国内/国際線旅客ビル施設間の移動時間を、現状の10～15分から5分以内に短縮することを目的に、一般道と区分された内際連絡バス専用道を整備中。（2025年供用開始予定）



道路用地確保のための水路の暗渠化等を実施中。今後、貨物地区出入口確保のための高架化を含めた工事を進め、国際線側は2024年11月末に工事完了。2025年の全線供用開始を目指す。

<全体工事図>

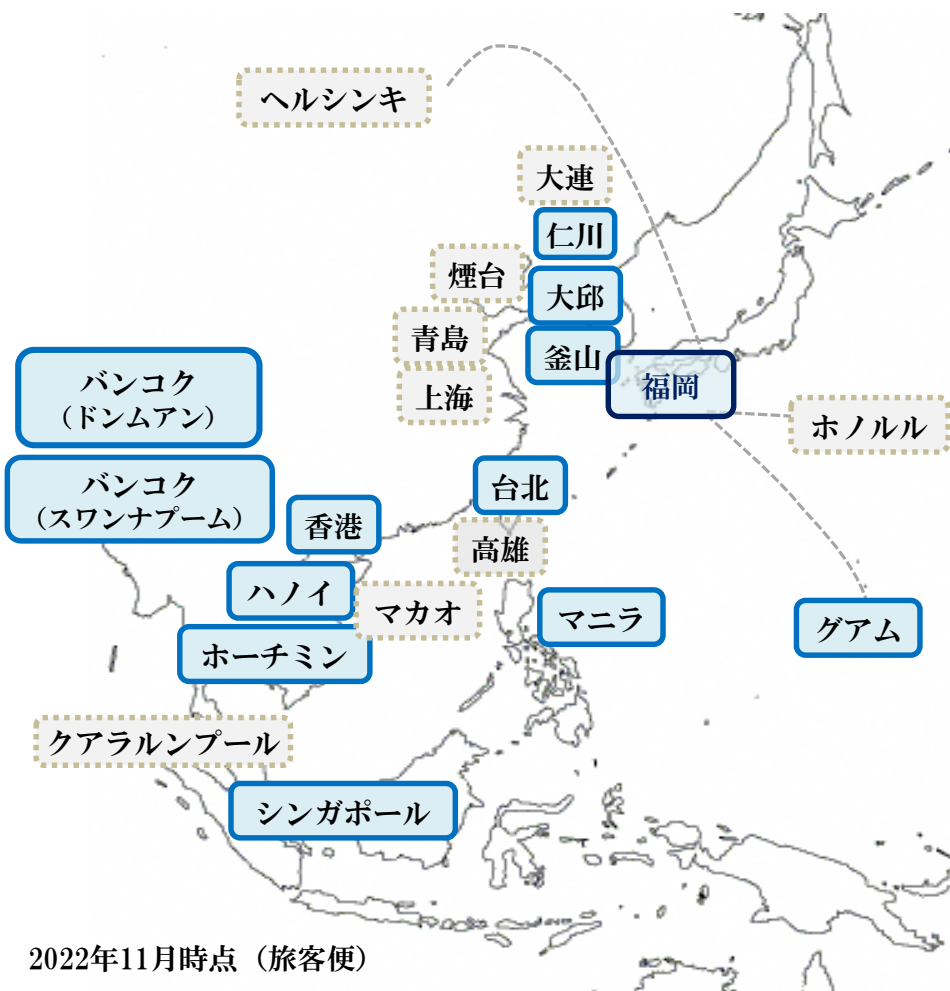


7. 新規就航および運航再開状況

【新規就航エアライン】

航空会社	路線	運行頻度	運航開始日
	AIR DO 札幌(新千歳)	毎日	2022年7月1日
	ベトジェットエア ハノイ	週3便 (火、木、土)	2022年7月2日
	タイ・ベトジェットエア バンコク (スワンナプーム)	週3便 (月、水、金)	2022年7月16日
	タイ・エアアジア バンコク (ドンムアン)	週4便 (月、火、木、日)	2022年10月12日

【国際線運航状況】



<国際線2022年度 旅客便数 (1カ月)>

行先	8月	9月	10月	11月	対2018.11月
韓国	89便	71便	247便	631便	70%
中国 ※1	0便	0便	0便	0便	-
台湾	30便	39便	62便	110便	55%
香港	5便	13便	26便	47便	37%
フィリピン	44便	43便	45便	47便	※2 78%
シンガポール	8便	9便	9便	13便	43%
ベトナム	35便	34便	35便	38便	88%
タイ	14便	17便	33便	75便	※3 97%
マレーシア	0便	0便	0便	0便	-
アメリカ	8便	9便	7便	8便	16%
ヨーロッパ	0便	0便	0便	0便	-
計	233便	235便	464便	969便	57%

注記 8~9月：実績、10月：速報値、11月：計画

※1：マカオ含む

※2：2018年12月実績 (セブパシフィックがデイリー化)

※3：2019年10月実績 (タイライオンエア及びタイエアアジアX就航)

- 全体の便数は、9月より毎月約2倍のペースで伸びている。
- 特に韓国路線の便数の伸びが大きく、9月に比し、約9倍となっている。
- その他、台湾路線は約3倍、香港路線は約4倍、タイ路線は新規就航も含め約4.5倍と便数の増が顕著となっている。

運航中

運休中

8. 国際線旅客の回復に合わせた環境整備

水際対策緩和に伴い、運航再開、新規就航の動きが活発になっている国際線において、今後旅客の急増が予測されるため、お客さまにスムーズにまた快適にご利用いただけるよう、環境整備を進めている。

案内所の有人対応再開



■実施内容

コロナ禍で無人対応としていた案内所を有人対応に戻し、お客さまへのご案内をカウンターにて行っている。

店舗の営業再開



■実施内容

コロナ禍で営業を中止していた店舗に対し、営業再開によるサービス提供の向上に向け調整を進め、順次再開している。

➢免税店の体制確保

免税店スタッフは、一時帰休や他社出向等で雇用を継続していたため、出向復帰等により販売体制を整えている。また、お客さまにお買い物を楽しんでいただけるよう、商品の豊富な品揃え、在庫確保等に努めている。

9. 継続的で着実な安全推進への取組み

航空機事故に備えて、消防局や医療機関と連携し消火救難活動を行う等、本番さながらの訓練を行い、各機関との連携体制等を確認することができた。今後も継続的な訓練により、緊急時への確実な対応に努める。



■実施日 2022年10月5日

■実施内容

訓練内容：ドクターヘリや救護所の設置、担架搬送等
各機関の役割や対応手順、連携方法の相互確認、災害イメージネーションを醸成することで、事故発生時の迅速かつ適切な活動に繋げる。

参加機関：約60機関（国土交通省福岡空港事務所、航空自衛隊、福岡県、福岡市、警察、医師会、消防局、航空会社、空港内事業者、FIAC）

参加人員：約200名

【参考】旅客数および便数（2018年度～2022年度 4～9月実績）



FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

国内線旅客数（千人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月-9月
2018年度	1,410	1,464	1,412	1,435	1,607	1,466	8,794
2019年度	1,425	1,519	1,438	1,524	1,628	1,524	9,058
2020年度	181	142	357	548	522	588	2,337
2021年度	675	494	505	724	720	561	3,678
2022年度	1,045	1,136	1,083	1,206	1,306	1,163	6,939
2018年度同月比 (2022年度)	74%	78%	77%	84%	81%	79%	79%

国内線便数（着陸回数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月-9月
2018年度	5,953	6,028	5,810	5,837	6,013	5,591	35,232
2019年度	5,808	6,069	5,855	6,101	5,925	5,776	35,534
2020年度	3,225	1,887	2,671	4,209	4,865	3,605	20,462
2021年度	4,579	4,208	3,839	4,551	4,986	4,246	26,409
2022年度	5,545	5,956	5,692	6,113	6,139	5,541	34,986
2018年度同月比 (2022年度)	93%	99%	98%	105%	102%	99%	99%

国際線旅客数（千人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月-9月
2018年度	571	544	530	531	581	594	3,353
2019年度	585	564	557	532	507	417	3,162
2020年度	0	0	0	1	1	1	3
2021年度	2	1	1	1	1	2	9
2022年度	10	12	14	28	41	40	144
2018年度同月比 (2022年度)	2%	2%	3%	5%	7%	7%	4%

国際線便数（着陸回数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月-9月
2018年度	1,610	1,662	1,614	1,640	1,661	1,646	9,833
2019年度	1,722	1,774	1,693	1,758	1,715	1,502	10,164
2020年度	42	40	72	79	76	80	389
2021年度	93	83	95	95	89	103	558
2022年度	140	161	169	250	279	274	1,273
2018年度同月比 (2022年度)	9%	10%	10%	15%	17%	17%	13%

国内線+国際線 旅客数（千人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月-9月
2018年度	1,982	2,007	1,942	1,967	2,188	2,060	12,146
2019年度	2,011	2,082	1,995	2,056	2,136	1,941	12,220
2020年度	181	143	357	549	523	588	2,341
2021年度	677	495	506	725	721	562	3,686
2022年度	1,055	1,148	1,097	1,234	1,347	1,202	7,083
2018年度同月比 (2022年度)	53%	57%	56%	63%	62%	58%	58%